

**2022年春 民青を一緒にやってみませんか——「社会や政治について学びたい」「ウクライナ侵略に胸を痛めている」「自分や周りの苦しい生活を何とかしたい」など様々な思いをもっているみなさんへ。**

■日本民主青年同盟（Democratic Youth League of Japan、略称・民青）は、15歳から30歳まで約1万人の青年団体です。1923年の創立以来、青年の願い実現のために活動してきました。地域・職場・学園ごとに班をつくり、草の根で小さなことから大きなことまで取り組んでいます。活動のアドバイザーは日本共産党（国会議員23名、党員約27万人、後援会員約338万人、創立百年目）。日本の侵略戦争に一貫して反対し、ロシア、中国、アメリカなど大国の横暴と対決してきた日本で唯一の政党なので、いまの国際情勢のもとでも頼もしい相談相手です。

■民青の活動の出発点は、青年の願いです。選挙に向けた政策学習会、被災地支援ボランティア、街頭生活労働相談会、国会見学ツアー、ジェンダー学習会、スポーツ大会、なべ会、テーマを決めたしゃべり場など、多彩な願いに根差し、学習・行動・交流をおこなってきました。ロシアのウクライナ侵略に反対しいち早く全国でスタンディングなどの行動や緊急学習会もおこないました。コロナ危機のもとでは、食料支援活動、ネットカフェ利用者調査、実態を地方議会や国会に届ける活動などをおこないました。とくに学生向けの食料支援活動は47都道府県で延べ10万人が利用し、青年が大変な中だからこそ、民青同盟が大事だということを実感しています。

■民青の活動の一つひとつが、社会と政治を変えることにつながっています。いまの政治は、競争を押し付け、富裕層を優遇し、多数の国民の苦しさを本人の努力不足と片付ける“新自由主義”的な政治です。2012年以降10億円以上の資産をもつ富裕層の資産合計は約4倍になりましたが、労働者一人当たりの実質賃金は年額約22万円下がりました。私たちの活動は、そういった「自己責任」「弱肉強食」の政治に草の根から対抗してきました。「同盟内外で食料支援を支えるネットワークをつくることができた」「要請したら県が食料支援活動をおこなうことになった」「総選挙で、私たちの届けた青年の実態を候補者が演説で取り上げてくれた」など、青年の願い実現の方向に社会や政治を動かしてきました。民青同盟が大きくなれば、新自由主義的な政治を変える確かな力になります。

いま民青は、「いまの暮らしと政治について。新自由主義を乗り越えるための青年の生の声」運動という、青年からじっくりと生活実態や社会について考えていることを聞き取る運動を全国でおこなっています。「政治についてよくわからない」「生活は苦しいけどみんな苦しいから仕方がないと思う」など、青年の思っていることを丸ごと受け止め、どうやったら青年同士が力を合わせて社会や政治をもっといいものにできるか、政党とも相談しながら道筋を見出しつつあります。

■民青では、社会や政治を変える具体的な展望を学ぶことができますので、前向きに活動することができます。19世紀にマルクスらが開拓した「科学的社会主義」とその視点で日本社会を分析した「日本共産党綱領」の学習で、社会や政治をおもとから掘めば解決の道筋が見えてきます。新自由主義的な政治の根本にあるのは、「財界中心」「アメリカいいなり」という「二つの歪み」を特徴とする自民党政治です。この構造から抜け出すことで、雇用・暮らし、高学費、ジェンダー不平等、環境問題、核兵器廃絶、北東アジア外交といったあらゆる分野で、日本社会はより希望の持てるものとなっていきます。

また、アメリカでの社会主義ブームなど、もっとおおもとにある資本主義という経済システムに対する問い直しも起きています。民青の「科学的社会主義」の学びは資本主義から社会主義へ変わる道筋も基礎から学べます。

■民青の活動は、世界や日本の大きな前向きな流れと同じ方向を向いています。世界では、ジェンダー格差の是正、気候危機打開の運動、最低賃金引上げ、大企業・富裕層への増税など新自由主義から抜け出す動きが強まっています。ロシアのウクライナ侵略に対して、国際社会の圧倒的多数がロシアによる侵略と核兵器による威嚇を非難していることは、植民地支配の終焉、侵略戦争の違法化、核兵器禁止条約の広がりなど、20世紀から21世紀にかけて世界的な構造変化があったことの証です。日本でも、新自由主義的な政治から抜け出すことが野党の一致点になり、市民と野党の共闘が発展していますし、多くの青年・国民がロシアのウクライナ侵略に声を上げています。民青は世界や日本の前向きな流れについて学び草の根から連帯できる団体です。世界や日本が大きく動き出しているいま、あなたも一緒に学び行動し、歴史の歯車を自分たちの手で動かしてみませんか。

■民青同盟の活動の基本は、週一回を基本に開催される班会です。そこでみんなで話し合っ多彩な取り組みをおこないます。同盟費は月550円・高校生250円（どちらも減免制度あり）です。隔週で新聞も発行しています。

仕事、勉強、趣味など忙しい中でも、同世代で社会や政治について基礎から学び交流し、行動していくことは、民主主義社会の担い手としてかけがえのない経験になるはずです。加盟用紙に記入したらいますぐはいれます。やりたい思いが少しでもあるのなら一緒にやってみませんか。激動の時代を共に生きるあなたの加盟を心から呼びかけます。